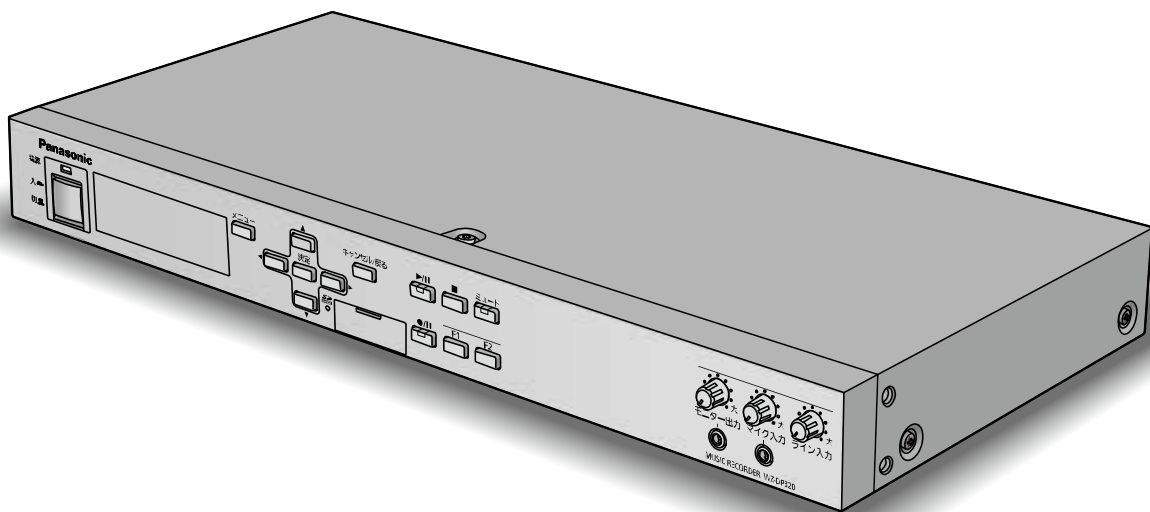


Panasonic®

取扱説明書

デジタル IC レコーダー 設定支援ソフト

品番 **WZ-DP320**



はじめに

機能概要

設定支援ソフト（以下、本ソフトウェア）は、デジタル IC レコーダー（WZ-DP320 以下、本体）の各種設定や操作をパーソナルコンピュータ（以下、PC）から SD メモリーカードやネットワーク接続を経由して行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアで作成したデータは、SD メモリーカードに保存して本体で使用できます。

取扱説明書について

- 本書はデジタル IC レコーダー（WZ-DP320）用設定支援ソフトの操作方法について記載しています。本体の機能に関する内容は、商品同梱の取扱説明書をお読みください
- ネットワークに関する設定は、接続する社内 LAN やサービスプロバイダーの設定により異なる場合があります。ネットワークに関する設定について詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本書では Microsoft® Windows® 7 Professional をご使用の場合を例に説明しています。ほかの OS をご使用の場合や OS の設定によっては、画面表示が異なる場合があります。その他の OS をご使用の場合、該当する OS の取扱説明書をお読みください。
- ソフトウェアのバージョン情報など本書中に示す画面図は表示例であり、実際のものとは異なる場合があります。

必要な PC の環境

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つ PC で使用できます。

OS*1	Microsoft® Windows® 10 Pro 日本語版 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 日本語版**2 Microsoft® Windows® 7 Professional 日本語版
CPU	上記 OS および Microsoft® .NET Framework 4.5.1 で推奨されている CPU を搭載している PC であること
メモリー	上記 OS および Microsoft® .NET Framework 4.5.1 で推奨されているメモリーを搭載している PC であること
ハードディスク容量	本ソフトウェアのインストール用として 100 MB の容量が必要です。 本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft® .NET Framework 4.5.1 が必要です。 インストールされていない場合は、別途 Framework 4.5.1 をインストールする空き容量が必要です。
画面	1024 x 768 ピクセル以上の解像度
インターフェース	10/100 Mbps のネットワークポートを有すること SD カードスロット

メモ

- 本ソフトウェアを動作させるには、Microsoft® .NET Framework 4.5.1 が必要です。
-

登録商標・商標について

SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

Adobe、Acrobat Reader および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Internet Explorer、ActiveX および DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional 日本語版を Windows 7 と表記しています。
- SDHC メモリーカード、SD メモリーカードを SD カードと表記しています。
- パーソナルコンピュータを PC と表記しています。
- デジタル IC レコーダー (WZ-DP320) を本体と表記しています。

著作権のある音楽の利用手続きについて

- 店舗などで CD やテープなどの録音物から著作権のある音楽を「BGM (店内放送)」として利用する場合は、社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC) とご契約いただき、使用料のお支払いが必要となります。
- JASRAC と契約している音源提供事業者から供給を受ける音楽については、個別にご契約いただく必要はありません。詳しい内容については、音源提供事業者におたずねください。
- 福祉施設・病院・教育機関での利用、事務所・工場などでの主として従業員を対象とした利用については当分の間、使用料が免除されています (著作権法第 38 条第 1 項により)。詳しい内容については、JASRAC 本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

用語について

内蔵音源

本体に内蔵されている8つの音源を指します。8つの音源は、外部制御入力に割り当てることができ、外部制御入力にメイク信号を入力すると該当する音源が再生されます。

SDメッセージ

SDカード（別売品）に収録した音源データを指します。ユーザーが録音した音源データに、名称、繰り返し再生などといったパラメーターを設定することも可能です。

プレイリスト

SDカードに収録された複数のSDメッセージを組み合わせて再生することができます。

外部制御入力

外部機器からのメイク信号により、あらかじめ設定した内蔵音源、SDカードに収録された音源を再生することができます。

ライブラリー

設定支援ソフトで使用する音源ファイルを保存するフォルダーです。PC内の音源ファイルをSDメッセージに登録する場合は、事前に音源ファイルをライブラリーに登録する必要があります。

もくじ

はじめに

機能概要	2
取扱説明書について	2
必要な PC の環境	2
登録商標・商標について	3
著作権について	3
略称について	3
著作権のある音楽の利用手続きについて	3
用語について	4
もくじ	5

基本操作

インストール・アンインストール	7
■ インストールのしかた	7
■ アンインストールのしかた	7
起動と終了	8
■ 起動のしかた	8
■ 終了のしかた	8
■ メインメニューについて	9
設定データについて	10
■ 設定について	10
■ 本体で扱うファイルについて	11
◆ SD カードフォルダー構成とファイル	11
■ 本体とのデータ受け渡し	12
◆ SD カードを介する方法	12
◆ ネットワークを介する方法	12

環境設定

環境設定	13
■ データフォルダーについて	13
■ 環境設定画面について	14
◆ 環境設定のしかた	14

共通操作

共通操作	15
■ データの読み込み・保存	15
◆ データ読み込み	15
◆ データ保存	16
◆ データ CSV 保存	17
■ 付加情報の読み込み	18
■ アップロード・ダウンロード	19
◆ ダウンロード	19
◆ アップロード	20
■ 画面イメージの保存	21
■ 画面イメージの印刷	22

システム設定

システム設定	23
■ システム設定データの流れ	23
■ システム設定画面について	24
■ システム設定データの設定	25
◆ 外部制御入力	25
◆ 機能ボタン	26

音源データ設定

音源データについて	27
■ 音源データの流れ	27
音源データ設定	28
■ 音源データ設定画面について	28
■ ライブラリーについて	29
■ ライブラリー登録画面について	30
◆ ライブラリーの登録	31
■ SD メッセージについて	32
■ SD メッセージ登録画面について	33
◆ SD メッセージの登録	34
◆ SD メッセージの設定	35
◆ SD メッセージのクリア	36
◆ SD メッセージのエクスポート	37
■ プレイリストについて	38
■ プレイリスト作成画面について	40
◆ プレイリストの作成	41
◆ プレイリストの設定	43
◆ プレイリストのクリア	44
■ その他の機能	45
◆ 音源ファイルの削除	45

もくじ

- ◆ 音源ファイル名の変更……………46
- ◆ 音源ファイルのトリミング……………47
- ◆ 音源ファイルのプロパティ表示……………48
- ◆ 音源データの試聴……………49
- ◆ 遠隔設定……………50
 - ◇ 本体との接続・切断……………50
 - ◇ 設定更新……………51
 - ◇ 音源ファイルのアップロード……………52
 - ◇ 音源ファイルのダウンロード……………53

ネットワーク接続

- ネットワーク接続について……………54
 - ネットワーク接続でできること……………54
- ネットワーク接続先を設定する……………55
 - ネットワーク接続先の設定……………55
 - ◆ 接続先IPアドレスとポート番号の設定……………55
- 機器ネットワーク設定を行う……………56
 - 機器ネットワークの設定……………56
 - ◆ ネットワーク設定……………57
 - ◆ TCP/IP 設定……………58
 - ユーザー認証の設定……………59
 - ◆ ユーザー認証設定……………59
 - ユニットアドレスの設定……………60
 - バージョン情報の確認……………61
- リモート制御……………62
 - リモート制御でできること……………63
 - ◆ 音源の再生・停止制御……………63
 - ◆ 出力音量制御……………64

故障かな!?

- 故障かな……………65

基本操作

インストール・アンインストール

■ インストールのしかた

本ソフトウェアのインストール手順を説明します。

本ソフトウェアをインストールする際には、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合のみ、インストールしてください。

1. **ダウンロードしたファイルを解凍**
2. **解凍フォルダーにある setup.exe をダブルクリック**
インストーラーが実行され、セットアップウィザードが表示されます。
3. **[次へ] ボタンをクリック**
使用許諾画面が表示されます。
4. **「使用許諾契約」をよく読み、使用許諾に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」をチェックし、[次へ] ボタンをクリック**
インストール先選択画面が表示されます。
5. **インストール先のフォルダーを選択して[次へ] ボタンをクリック**
インストールの準備画面が表示されます。
インストール先を変更する場合は [変更] ボタンをクリックしてインストール先のフォルダーを選択します。
6. **[インストール] ボタンをクリック**
インストールが開始されます。
インストールが終了するとセットアップの終了画面が表示されます。
7. **[完了] ボタンをクリック**
セットアップの終了画面を閉じます。

メモ

- インストールが完了すると、デスクトップ上にショートカットアイコンが自動的に作成されます。また、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [WZ-DP320] - [WZ-DP320 設定支援ソフト] メニューにショートカットが自動的に作成されます。

■ アンインストールのしかた

本ソフトウェアをアンインストールするときは、以下の手順で操作します。

アンインストールの方法は Windows 7 での操作を元に説明します。ご使用の OS に読み換えて操作してください。

1. **[コントロールパネル] - [プログラムと機能] をクリック**
「プログラムと機能」画面が表示されます。
2. **[WZ-DP320 設定支援ソフト] を選択し、[アンインストール] ボタンをクリック**
以降、画面の指示にしたがって操作します。

起動と終了

■ 起動のしかた

1. デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリック
本ソフトウェアが起動し、画面が表示されます。
-

メモ

- スタートメニューの [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [WZ-DP320] - [WZ-DP320 設定支援ソフト] をクリックして起動することもできます
-

■ 終了のしかた

1. メインメニューの [終了] ボタンをクリック
終了確認画面が表示されます。
 2. [はい] ボタンをクリック
本ソフトウェアが終了します。
-

メモ

- メインメニュー以外の画面からメインメニューに移動するには各画面で [メニュー] ボタンを押してください。
-

■ メインメニューについて

本ソフトウェアを起動するとメインメニューが表示されます。
目的に応じてボタンをクリックし、各画面へ移動します。



番号	名称	内容	参照ページ
1	システム設定	外部制御入力や機能ボタンなど本体の動作に関わる設定を行います。	23
2	音源データ設定	SD メッセージやプレイリストの作成を行います。	27
3	ネットワーク接続設定	ネットワークで本体と接続する場合、接続相手となる本体を設定します。	55
4	機器ネットワーク設定	接続した本体のネットワーク設定を行います。	56
5	リモート制御	再生制御など、本体を遠隔操作します。	62
6	環境設定	本ソフトウェアで使用するデータフォルダーやSD カードドライブの設定を行います。	13
7	終了	本ソフトウェアを終了します。	—

設定データについて

■ 設定について

本ソフトウェアで行う設定の流れは以下の通りです。

環境設定 (13 ページ)

本ソフトウェアを使用する前にデータフォルダーのパスやSDカードのドライブを設定します。



設定データの編集

本体で扱う各種データの設定を行います。
各画面でデータの読み込み・保存を行います。

システム設定 (23 ページ)

運用状況に応じて設定する外部制御入力、機能ボタンの設定を行います。

音源データ設定 (27 ページ)

本体でSDカードから再生するSDメッセージの設定、プレイリスト作成等を行います。



ネットワークの設定

本ソフトウェアから本体にネットワーク接続するための設定、および本体のネットワーク設定を行います。

ネットワーク接続設定 (55 ページ)

本ソフトウェアから接続する本体のIPアドレスとポート番号を設定します。
本体のIPアドレスやポート番号を変更したときには本体の設定に合わせて必ず設定します。

機器ネットワーク設定 (56 ページ)

本体のネットワーク設定を行います。



リモート制御 (62 ページ)

本ソフトウェアから本体をリモート制御します。リモート制御では再生制御、出力音量制御を行うことができます。

■ 本体で扱うファイルについて

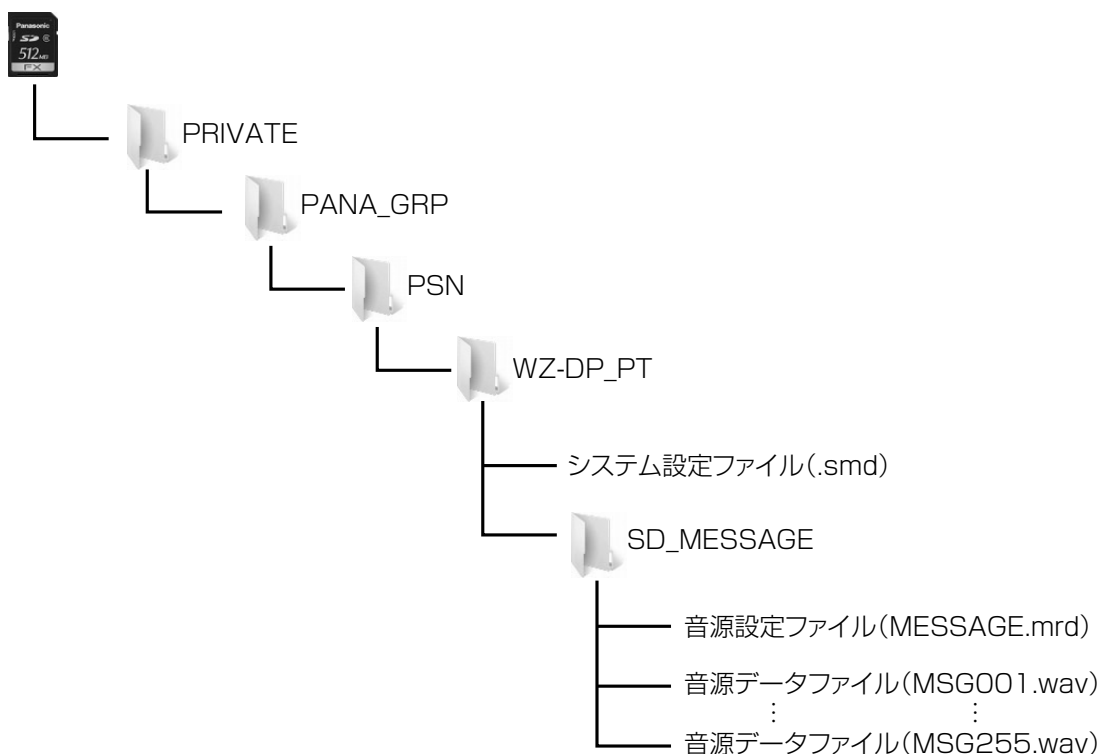
本体では以下のファイルを扱います。これらのファイルは本体や本ソフトウェアで作成、編集することができます。

ファイル	概要	設定内容	拡張子
システム設定データ	外部制御入力や機能ボタンのど本体の動作に関する設定データです。	機能ボタン 外部制御入力	.smd
音源データ	SDメッセージやプレイリストに関する設定データです。ファイル名は MESSAGE.mrd 固定です。	音源データ名称 再生回数 プレイリスト設定 シャッフル設定	.mrd
音源ファイル	SD メッセージとして使用する音源ファイルです。	—	.wav

重要

- PC 等でファイル名、拡張子やファイルの中身を変更しないでください。本体で読み込めなくなることがあります。必ず本体または、本ソフトウェアで保存したファイルをご使用ください

◆ SD カードフォルダー構成とファイル



基本操作

■ 本体とのデータ受け渡し

本体とのデータの受け渡しを行う方法は以下の2通りあります。

- ・ SDカードを介する方法
- ・ ネットワークを介する方法

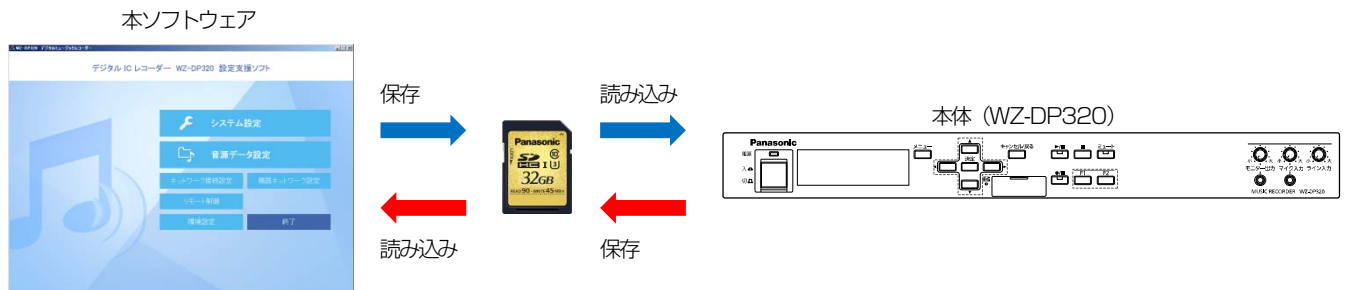
◆ SDカードを介する方法

<本ソフトウェア→本体>

本ソフトウェアで作成した各種データをSDカードに保存します。SDカードを本体のSDカードスロットに挿し込み、前面パネル操作でデータを読み込みます。

<本体→本ソフトウェア>

本体の前面パネル画面操作で各種データをSDカードに保存します。SDカードをPCのSDカードスロットに挿し込み、本ソフトウェアで読み込みます。



メモ

- 本体では音源データをSDカード上のデータをそのまま使用するため、音源データを本体に保存するための前面パネル操作は必要ありません。また、音源データの設定を本体に反映する場合でもSDカードを挿入すれば自動的に設定が読み込まれます。

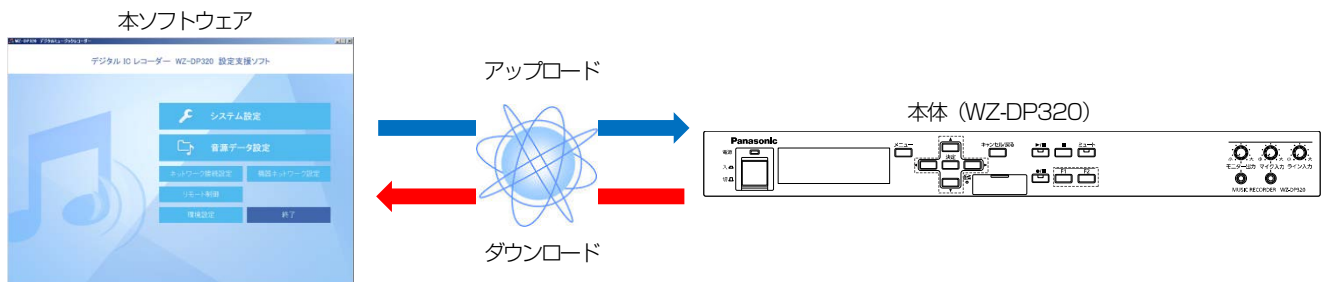
◆ ネットワークを介する方法

<本ソフトウェア→本体>

本ソフトウェアで編集した各種データを保存し、本体にアップロードします。アップロードは各設定画面で行います。

<本体→本ソフトウェア>

本体から各種設定データをデータフォルダーにダウンロードします。ダウンロードは各設定画面で行います。



環境設定

環境設定

本ソフトウェアで使用するデータフォルダー、SD カードの設定を行います。
本ソフトウェアを初めてご使用の際は、PC 環境にあわせて環境設定を行ってください。

■ データフォルダーについて

データフォルダーは本ソフトウェアで扱うシステム設定ファイル、音源データを保存するフォルダーです。
本体で SD カードに保存したデータを本ソフトウェアで読み込み、データフォルダーに保存すれば運用中のデータをバックアップすることができます。

また、本ソフトウェアで作成したデータを本ソフトウェアで読み込み、SD カードに保存して本体で読み込めばデータを保存したときの設定に復元することができます。

システム設定データをアップロード、ダウンロードするときもアップロード元、ダウンロード先として使用します。



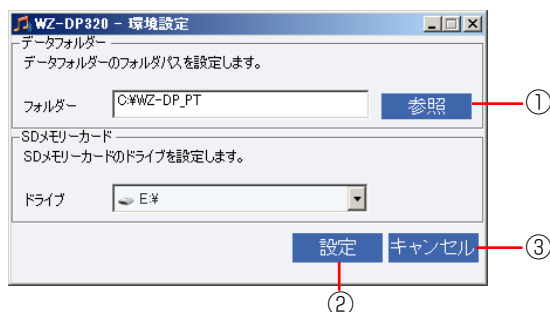
メモ

- データフォルダーのフォルダーパスを設定するときは十分な空き容量があるドライブを選択してください。

環境設定

■ 環境設定画面について

環境設定画面を表示するにはメインメニューで [環境設定] ボタンをクリックします。



番号	名称	説明
1	参照	データフォルダのフォルダを選択します。
2	設定	環境設定画面で変更した内容を反映して画面を終了します。
3	キャンセル	環境設定画面で変更した内容を反映せずに画面を終了します。

◆ 環境設定のしかた

- 1. [参照] ボタンをクリックし、データフォルダのフォルダパスを設定**
[参照] ボタンをクリックするとフォルダ選択ダイアログが表示されます。
データフォルダとして使用するフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。
- 2. SD カードドライブを設定**
ご使用の環境に合わせて SD カードドライブを選択します。
- 3. [設定] ボタンをクリック**
設定が反映されます。
各画面でデータの保存・読み込みを行うと本画面で設定した場所でデータの保存・読み込みが行われます。

重要

- SD カードドライブを使用する場合は必ず SD ドライブを選択後に [設定] ボタンをクリックして設定を行ってください。

共通操作

共通操作

システム設定画面、音源データ設定画面で実行できる共通の機能について説明します。

■ データの読み込み・保存

編集したシステム設定データ、音源データをデータフォルダーやSDカードにファイルとして読み込み・保存することができます。

事前に環境設定でデータフォルダーやSDカードのパス設定を行ってください。(環境設定 13 ページ)

ここではシステム設定データの読み込み、保存を例にして説明します。

◆ データ読み込み

データフォルダーやSDカードに保存されたシステム設定ファイルを読み込みます。

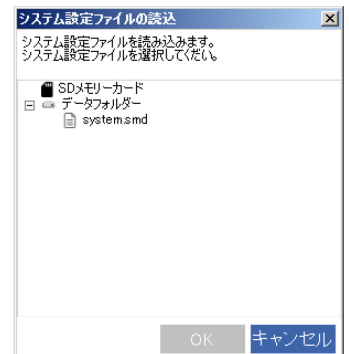
1. システム設定画面の [データ読み込み] をクリック

システム設定ファイルの読み込みダイアログが表示されます。



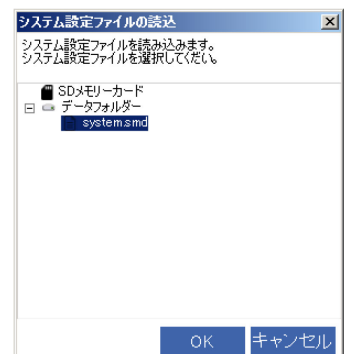
2. 読み込むシステム設定ファイルを選択

読み込みできるのは本体で保存したSDカード上のシステム設定ファイルか、データフォルダーに保存されているシステム設定ファイルです。



3. [OK] ボタンをクリック

データの読み込みが開始され、画面に反映されます。



共通操作

◆ データ保存

編集したデータをデータフォルダーやSDカードに保存します。データを保存したSDカードを本体に差し込んで読み込むと、本ソフトウェアで編集した内容を本体に反映することができます。

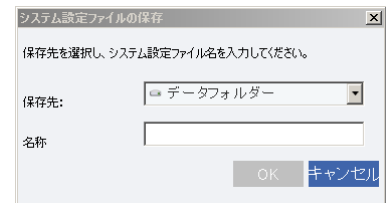
1. システム設定画面の [データ保存] をクリック

システム設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。



2. 保存先を選択

保存先はデータフォルダーあるいはSDカードから選択します。



3. ファイル名を入力

- システム設定データの場合
使用可能な文字数は英数字 11 文字までです。
- 音源データの場合
フォルダーに使用可能な文字を入力することができます。
保存先にSDカードを選択した場合は、データ名を入力することができません。

重要

- SDカードに保存できる音源データは1つまでです。SDカードに音源データがある状態で音源データを保存すると、SDカード上の音源データは上書きされます。

4. [OK] ボタンをクリック

保存が実行されます。

◆ データ CSV 保存

独自のシステム設定表を作成したり、設定内容を印刷して記録として残したりする場合に、画面表示中のデータを CSV 形式のファイルで PC に保存します。

CSV 形式のファイルとは、カンマで区切られた定型のテキスト形式ファイルで、Microsoft Excel などの表計算ソフトで開きます。

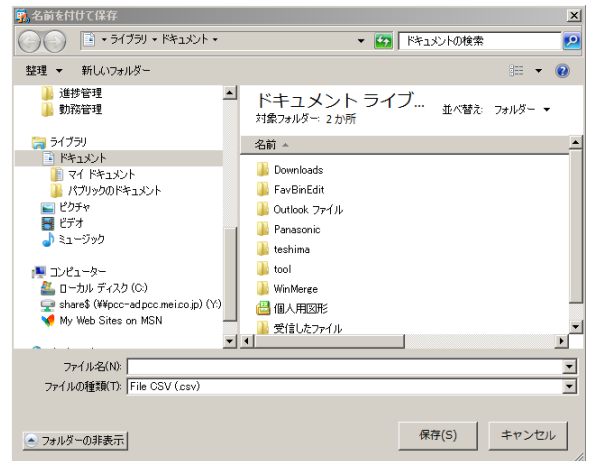
本ソフトウェアでは CSV ファイルを読み込むことはできません。

1. 【CSV 保存】 ボタンをクリック

システム設定データの CSV ファイル保存ダイアログが表示されます。



2. 保存先フォルダーを選択してファイル名を入力



3. 【保存】 ボタンをクリック

CSV ファイルが作成されます。

■ 付加情報の読み込み

音源データを読み込むことにより、SD メッセージ、プレイリストの名称、再生時間を表示することができます。

画面	読み込み対象	付加情報
システム設定	音源データ	外部制御入力や機能ボタンに音源データ再生を割り当てるときに音源（SD メッセージやプレイリスト）の名称、再生時間を表示することができます。

※音源データ設定画面では読み込める付加情報はありません。

ここではシステム設定データ編集画面の付加情報読み込みを例に説明します。

1. 【付加情報読み込み】 ボタンをクリック

「音源データ」のサブメニューが表示されます。



2. サブメニューから読み込むデータを選択

データ読み込みダイアログが表示されます。



3. 読み込むデータを選択し、【OK】 ボタンをクリック

データが読み込まれ、画面に反映されます。

- システム設定画面では付加情報を読み込むと、外部制御入力や機能ボタンに機能を割り当てるときに SD メッセージ、プレイリストは以下の通りに表示されます。
 - 音源データを読み込んだ場合
音源ファイルが登録されている SD メッセージ、SD メッセージが登録されているプレイリストは緑色の文字で表示されます。
音源ファイルが登録されていない SD メッセージ、SD メッセージが登録されていないプレイリストは黒色の文字で表示されます。

■ アップロード・ダウンロード

ネットワーク接続していれば本体からシステム設定データを取得（ダウンロード）したり、PC 内のシステム設定データを本体に反映（アップロード）したりできます。

事前にネットワーク接続設定で接続先の IP アドレスとポート番号を設定してください。(55 ページ)

ここではシステム設定データ編集画面のアップロード/ダウンロードを例に説明します。

メモ

- 本ソフトウェアを起動してから初めて本体にアクセスするとユーザー認証画面が表示されます。本体へのアクセスを続けるにはユーザー認証画面でユーザー名とパスワードを入力してください。(59 ページ)
- 本体で音源データ再生中にデータをアップロードすると、再生が停止します。
- 音源データをアップロード・ダウンロードすることはできません。

◆ ダウンロード

本体のシステム設定データをダウンロードし、データフォルダーあるいは SD カードに保存します。

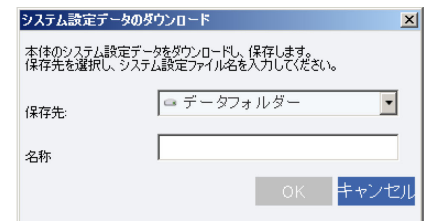
1. 【ダウンロード】 ボタンをクリック

システム設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。



2. 保存先を選択

保存先はデータフォルダーあるいは SD カードから選択します。



3. ファイル名を入力

ファイル名に使用可能な文字は英数字で 11 文字までです。

4. 【OK】 ボタンをクリック

ダウンロードされたシステム設定データがファイルとして保存されます。

また、ダウンロードしたシステム設定データの設定内容が画面に反映されます。

メモ

- ダウンロード実行の前に編集中のシステム設定データがある場合は上書き確認画面が表示されます。ダウンロードを実行すると編集中のデータが上書きされますので、必ず保存してからダウンロードを実行してください。

共通操作

◆ アップロード

データフォルダあるいはSDカードにあるシステム設定ファイルを本体にアップロードします。

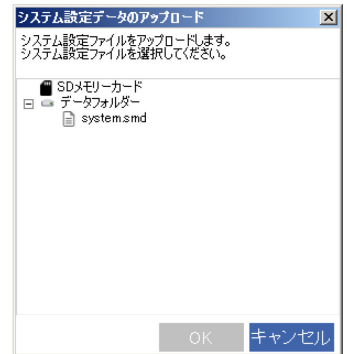
1. [アップロード] ボタンをクリック

システム設定ファイルの読み込みダイアログが表示されます。



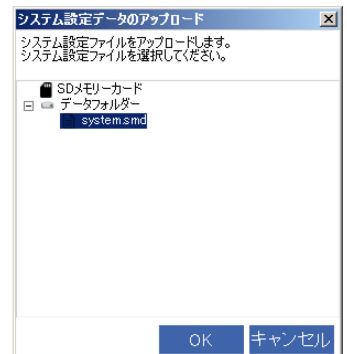
2. アップロードするシステム設定ファイルを選択

アップロードできるのはSDカード上のシステム設定ファイルか、データフォルダに保存されているシステム設定ファイルです。



3. [OK] ボタンをクリック

アップロードが実行され、アップロードしたシステム設定データが画面に反映されます。



メモ

- アップロード実行の前に編集中のシステム設定データがある場合は上書き確認画面が表示されます。アップロードを実行すると編集中のデータが上書きされますので、必ず保存してからアップロードを実行してください。

■ 画面イメージの保存

本ソフトウェアの表示画面を画像ファイル（ビットマップ形式、拡張子は.bmp）として保存できます。
画面右上の「画面保存」ボタンをクリックすると、そのときに表示されている画面を保存します。

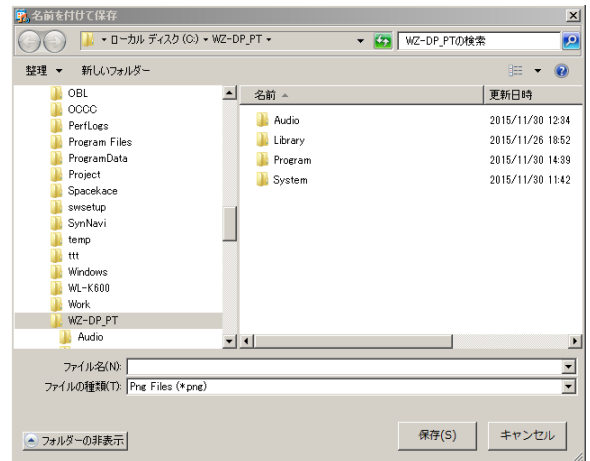
1. 各画面で、「画面保存」ボタンをクリック

画面イメージの保存ダイアログ
が表示されます。



2. 保存先フォルダーを選択し、ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリック

ファイルの種類はビットマップファイル（*.bmp）のみです。



共通操作

■ 画面イメージの印刷

本ソフトウェアの画面を PC が印刷可能なプリンターから印刷できます。

画面右上の「画面印刷」ボタンをクリックすると、そのときに表示されている画面を印刷します。

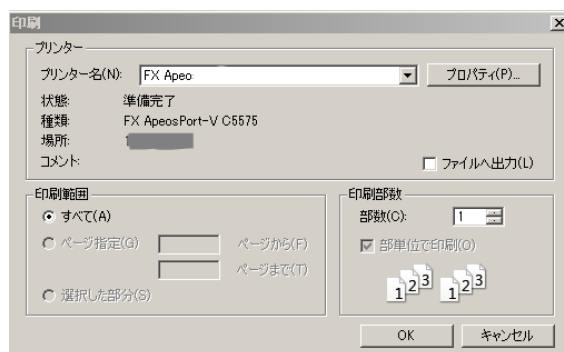
1. 各画面で、「画面印刷」ボタンをクリック

印刷ダイアログが表示されます。



2. ご使用の環境に合わせてプリンターを選択して印刷

※プリンターの設定で印刷の向きを「よこ」に設定してください。



メモ

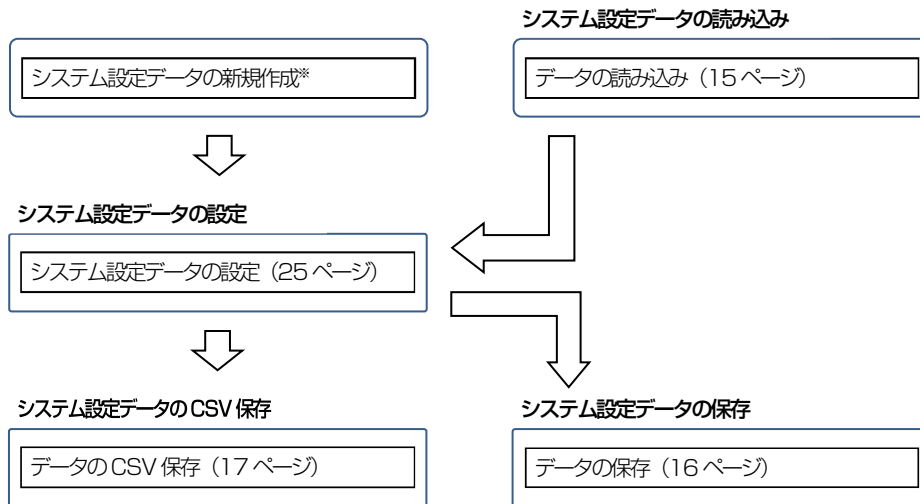
- お使いのプリンターによっては画面を正しく印刷できない場合があります。その場合は画面イメージの保存（21 ページ）を行い、保存したビットマップファイルを印刷してください。

システム設定

システム設定

本体で使用する外部制御入力や機能ボタンなどの設定を行います。

■ システム設定データの流れ



※ システム設定データを新規に作成する場合は、メインメニューの [システム設定] ボタンをクリックし、システム設定画面を表示します。

システム設定

■ システム設定画面について

システム設定画面を表示するには、メインメニューの [システム設定] ボタンをクリックします。



番号	名称	説明
1	画面保存	表示中の画面を画像ファイル(ビットマップ)として保存します。
2	画面印刷	表示中の画面を印刷します。
3	データ読込	保存されたシステム設定データを読み込みます。
4	データ保存	システム設定データをファイルとして保存します。
5	ダウンロード	ネットワークで接続された本体からシステム設定データを取得します。
6	アップロード	ネットワークで接続された本体にシステム設定データを反映します。
7	CSV 保存	システム設定データを CSV 形式で保存します。
8	付加情報読込	音源データを読み込み、外部制御入力や機能ボタンで設定した内容に応じて名称や再生時間を表示します。
9	メニュー	メニュー画面に戻ります。
10	外部制御入力	外部制御入力 ON されたときに再生する音源を設定します。
11	機能ボタン	機能ボタンに割り当てる機能を設定します。

■ システム設定データの設定

◆ 外部制御入力

外部制御入力が ON されたときに再生する音源データを設定します。

1. 設定する外部制御入力の名称欄をダブルクリックして外部制御入力の名称を入力

入力可能文字 : 半角 16 文字、
全角 8 文字

番号	名称	種別	No.	再生時間	付加情報
1	外部制御入力1	内蔵音源	ORG1	00:00:27.000	ウエストミンスターの鐘
2	外部制御入力2	内蔵音源	ORG2	00:00:05.000	コールサイン上り4音
3	外部制御入力3	内蔵音源	ORG3	00:00:05.000	コールサイン下り4音

2. 設定する外部制御入力の種別欄、No 欄をダブルクリックして設定

番号	名称	種別	No.	再生時間	付加情報
1	外部制御入力1	内蔵音源	ORG1	00:00:27.000	ウエストミンスターの鐘
2	外部制御入力2	なし	ORG2	00:00:05.000	コールサイン上り4音
3	外部制御入力3	SDメッセージ	ORG3	00:00:05.000	コールサイン下り4音
4	外部制御入力4	プレイリスト	ORG4	00:00:10.000	ブザー音

種別	No	説明
なし	—	外部制御入力が ON されても音源データを再生しません。
内蔵音源	ORG1~ORG8	外部制御入力が ON されたときに設定した音源データ(内蔵音源、SD メッセージ、プレイリスト) を再生します。
SD メッセージ	MSG001~MSG255	
プレイリスト	LIST01~LIST50	

メモ

- [付加情報読込] ボタンから音源データを読み込むと各音源データの名称、再生時間を表示することができます。また、設定した音源データが存在する場合は No 欄の文字が緑で表示されます。

システム設定

◆ 機能ボタン

機能ボタン [F1] / [F2] を押したときに、実行する機能を割り当てます。

1. 設定する機能ボタンの名称欄をダブルクリックして機能ボタンの名称を入力

入力可能文字 :半角 16文字、
全角 8文字

ボタン	名称	機能	種別	No.	再生時間	付加情報
F1	機能ボタン(F1)	機能なし				
F2	機能ボタン(F2)	機能なし				

2. 機能ボタンを押したときに実行する機能を割り当て

ボタン	名称	機能	種別	No.	再生時間	付加情報
F1	機能ボタン(F1)	機能なし				
F2	機能ボタン(F2)	音源データ再生				

機能	種別	No.	説明
機能なし		—	機能ボタンに機能を割り当てません。割り当てた機能を削除するときを選択します。
音源データ再生	内蔵音源	ORG1~ORG8	外部制御入力が ON されたときに設定した音源 (内蔵音源、SD メッセージ、プレイリスト) を再生します。
	SD メッセージ	MSG001~MSG255	
	プレイリスト	LIST01~LIST50	

メモ

- [付加情報読込] ボタンから音源データを読み込むと各音源データの名称、再生時間を表示することができます。また、設定した音源データが存在する場合は No 欄の文字が緑で表示されます。

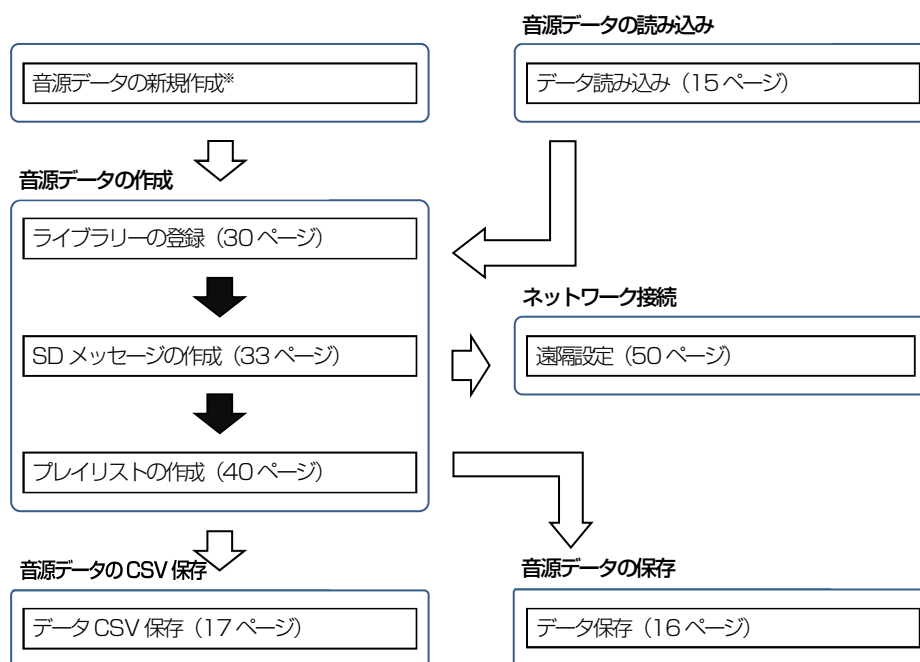
音源データ設定

音源データについて

音源データとは SD メッセージやプレイリストに関する設定と SD メッセージに使用する音源ファイルの総称です。

■ 音源データの流れ

音源データ作成の流れを説明します。

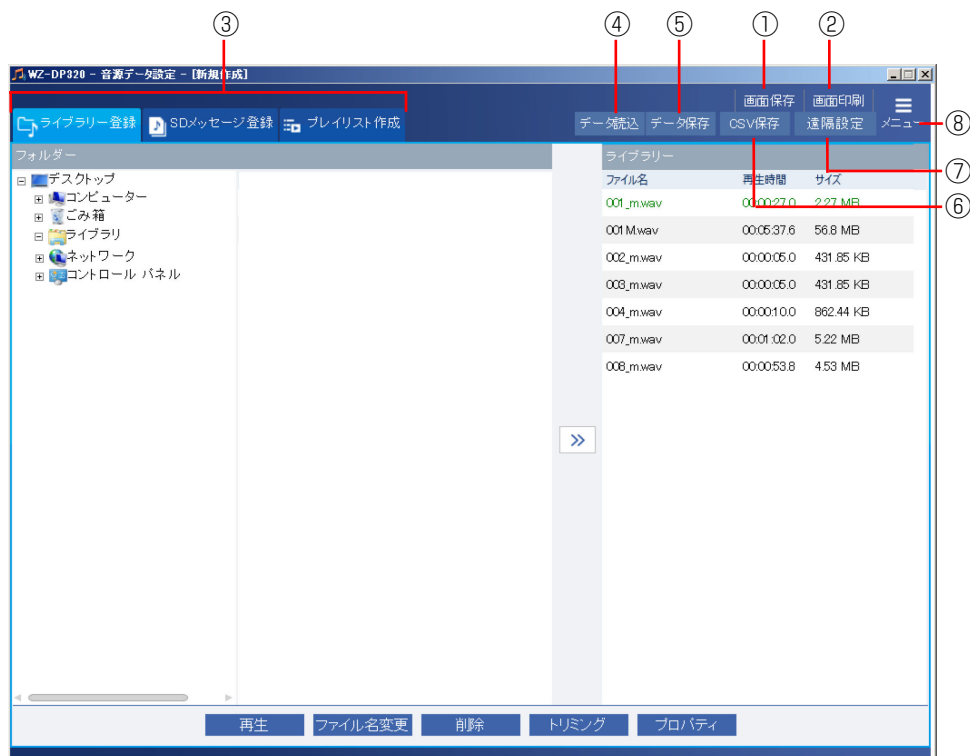


※ 音源データを新規に作成する場合はメインメニューの [音源データ設定] ボタンをクリックし、音源データ設定画面を表示します。

音源データ設定

■ 音源データ設定画面について

音源データ設定画面を表示するにはメインメニューの「音源データ設定」ボタンをクリックします。

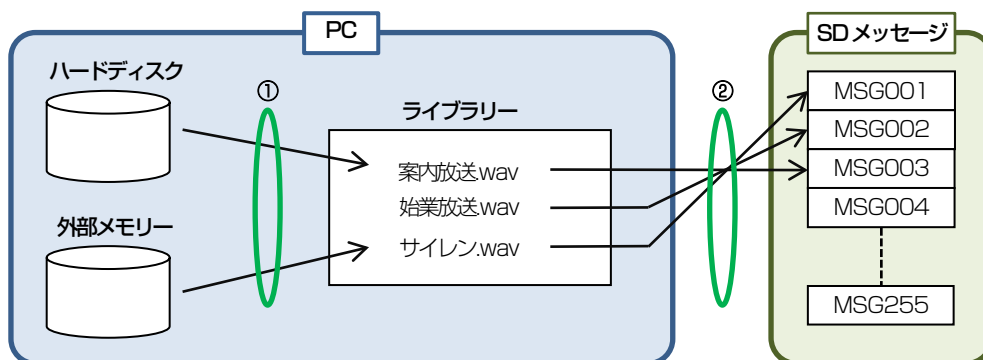


番号	名称	説明
1	画面保存	表示中の画面を画像ファイル（ビットマップ）として保存します。
2	画面印刷	表示中の画面を印刷します。
3	ライブラリー登録 SDメッセージ登録 プレイリスト作成	ライブラリーへ音源ファイルの登録を行うときは「ライブラリー登録」タブを、SDメッセージの登録を行うときは「SDメッセージ登録」タブを、プレイリストを作成する場合は「プレイリスト作成」タブを選択します。
4	データ読み込み	保存された音源データを読み込みます。
5	データ保存	音源データを保存します。
6	CSV保存	音源データの設定をCSV形式で保存します。
7	遠隔設定	本体のSDカードに保存されているSDメッセージやプレイリストの設定を変更し、本体に反映します。 また、本体でSDメッセージに使用している音源をダウンロードしたり、ライブラリーから音源ファイルをアップロードしたりできます。
8	メニュー	メニュー画面に戻ります。

■ ライブラリーについて

ライブラリーは本ソフトウェアで使用する音源ファイルを保存するフォルダーです。ライブラリーにある音源ファイル（*.wav）はSDメッセージとして登録できます。

ハードディスクや外部メモリーなど PC 上の音源ファイルをメッセージとして使用する場合は、音源ファイルをライブラリーに登録してください。



① PC上の音源ファイルをライブラリーに登録する。

② ライブラリーに登録されている音源ファイルをSDメッセージに登録する。

メモ

- ライブラリーには音源ファイルが保存されます。フォルダーパスを設定するときは十分な空き容量があるドライブを選択してください。

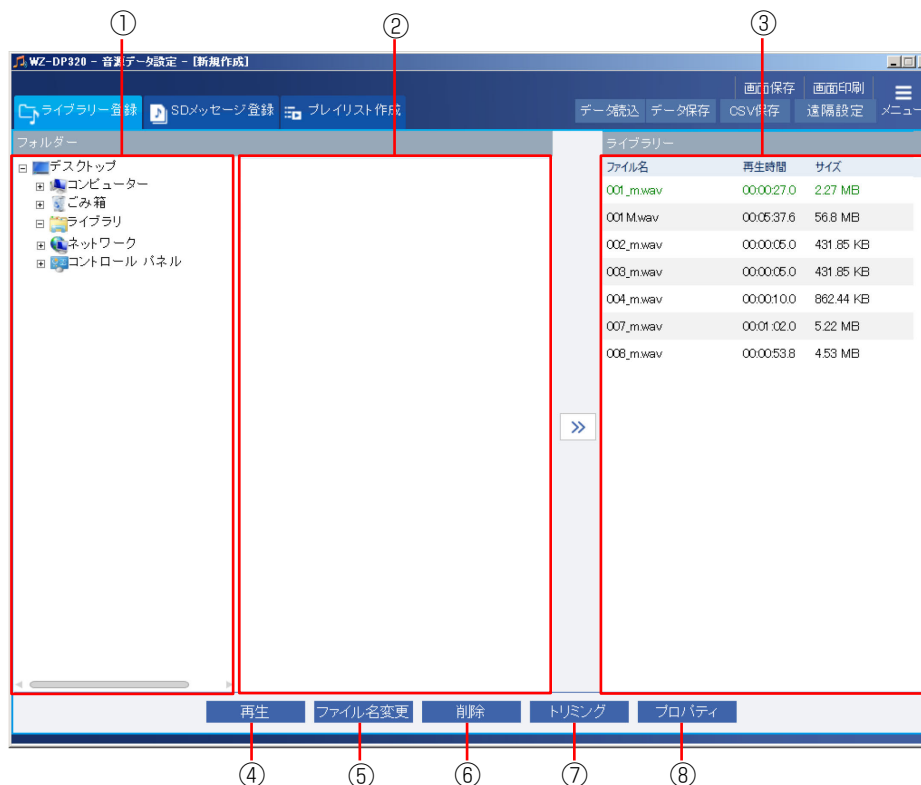
音源データ設定

■ ライブラリー登録画面について

PC内の音源ファイルをライブラリーに登録します。

ライブラリーに登録した音源ファイルはSDメッセージに登録できます。

ライブラリーの登録は音源データ設定画面の [ライブラリー登録] タブで行います。



番号	名称	説明
1	フォルダーリスト	PC内のフォルダーを表示します。
2	音源ファイルリスト	フォルダーリストで選択したフォルダー内の音源ファイルを表示します。
3	ライブラリー表示欄	ライブラリーに登録されている音源ファイルを表示します。
4	再生	サウンドプレーヤーを起動し、音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルを試聴します。
5	ファイル名変更	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルのファイル名を変更します。 [SDメッセージ] タブにてSDメッセージに割り当てられている音源ファイルはファイル名変更できません。
6	削除	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルを削除します。 SDメッセージに割り当てられているライブラリーの音源ファイルは削除できません。
7	トリミング	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルの前後をカットし、新しい音源ファイルとしてライブラリーに保存します。
8	プロパティ	音源ファイルのプロパティを表示します。

◆ ライブラリーの登録

PC内の音源ファイルをライブラリーに登録します。

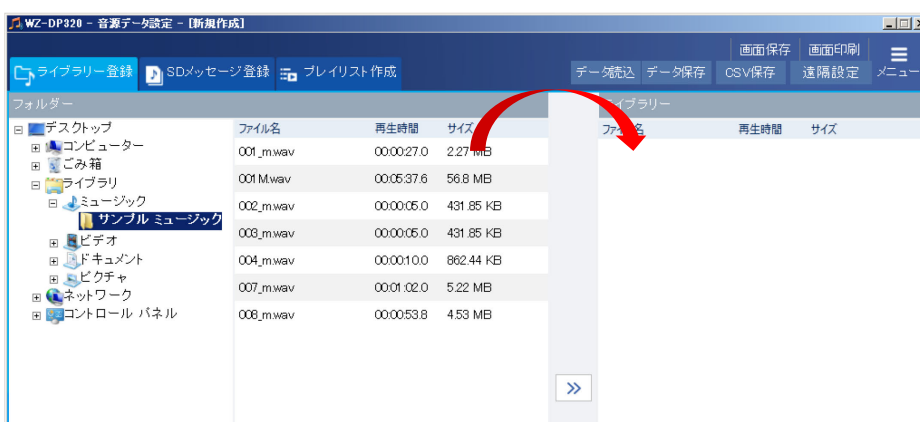
1. フォルダーリストから音源ファイルがあるフォルダーをクリック

選択したフォルダー内の音源ファイルが音源ファイルリストに表示されます。



2. 音源ファイルリストから音源ファイルを選択し、ライブラリー表示欄にドラッグ&ドロップ

選択した音源ファイルがライブラリーに登録されます。



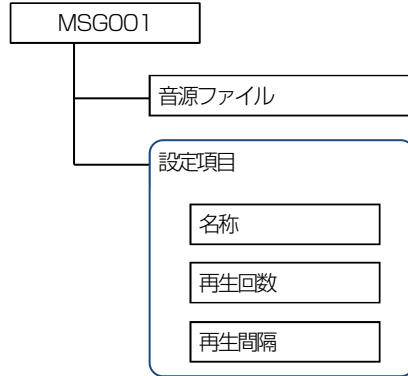
メモ

- ドラッグ&ドロップの代わりに、音源ファイルを選択して [>>] ボタンをクリックしても選択した音源ファイルをライブラリーに登録できます。

音源データ設定

■ SD メッセージについて

SD メッセージとは本体で管理するデータ (MSG001~MSG255) であり、音源ファイルと各種設定で構成されます。SD メッセージに音源ファイルを割り当てることで、音源ファイルを SD メッセージとして管理します。ライブラリーに登録された音源ファイルを SD メッセージとして登録することができます。



SD メッセージの概念

SD メッセージに割り当てることができる音源ファイルフォーマットは下表の通りです。

ファイル	項目	内容
WAV	フォーマット	リニア PCM
	サンプリング周波数	44.1 kHz
	量子化ビット数	16 bit
	チャンネル	モノラル / ステレオ

本体では MSG001~MSG255 の 255 個の SD メッセージを扱うことができます。

SD メッセージは外部制御入力、機能ボタン、プログラムチャイム (WZ-PT330)、プログラム IC レコーダー (WZ-PT340) からのシリアル通信制御で再生することができます。

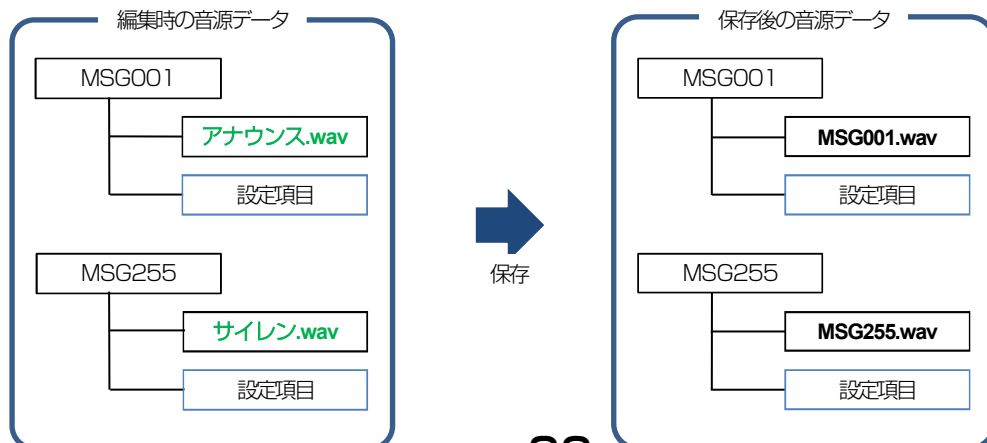
複数の SD メッセージを組み合わせることでプレイリストを作成することができます。

メモ

- ステレオファイルの場合は、本体では再生時に Lch、Rch をミキシングして再生します。
- 音声ファイルは、120 分以内の音源ファイルを使用してください。

重要

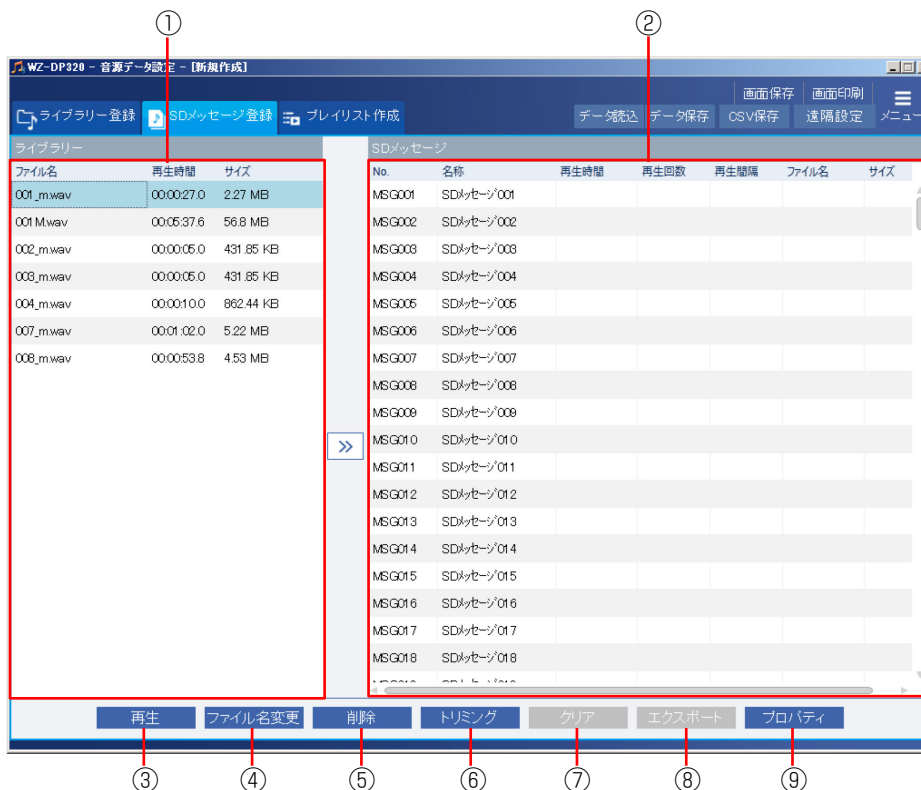
- SD メッセージの音源ファイル名は音源データ保存時に自動的に MSG***.wav(*** : SD メッセージ番号)に変更されます。なお、ライブラリー表示欄に表示されたオリジナルの音源はそのまま保持されます。



■ SD メッセージ登録画面について

SD メッセージの登録や設定を行います。

SD メッセージの登録は音源データ設定画面の [SD メッセージ登録] タブで行います。



番号	名称	説明
1	ライブラリー表示欄	ライブラリーに登録されている音源ファイルを表示します。
2	SD メッセージ表示欄	SD メッセージが一覧表示されます。 SD メッセージの名称、再生回数、再生間隔などを設定します。
3	再生	サウンドプレーヤーを起動し、ライブラリー表示欄やSD メッセージ表示欄で選択した音源ファイルを試聴します。
4	ファイル名変更	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルのファイル名を変更します。 [SD メッセージ] タブにてSD メッセージに割り当てられている音源ファイルはファイル名変更できません。
5	削除	ライブラリー表示欄で選択した音源ファイルを削除します。 [SD メッセージ] タブにてSD メッセージに割り当てられている音源ファイルは削除できません。
6	トリミング	ライブラリー表示欄で選択した音源ファイルの前後をカットし、新しい音源ファイルとしてライブラリーに保存します。
7	クリア	SD メッセージ表示欄で選択したSD メッセージの音源ファイルの登録を解除し、設定をクリアします。
8	エクスポート	SD メッセージ表示欄で選択したSD メッセージに割り当てられている音源ファイルをライブラリーにコピーします。
9	プロパティ	音源ファイルのプロパティを表示します。

音源データ設定

◆ SD メッセージの登録

ライブラリー表示欄にある音源ファイルを SD メッセージに登録します。

1. ライブラリー表示欄の音源ファイルを選択



2. SD メッセージ表示欄の登録したい番号にドラッグ&ドロップ

ドロップした番号の SD メッセージに音源ファイルが登録され、音源ファイルの情報が表示されます。



メモ

- ドラッグ&ドロップの代わりに、音源ファイルを選択して [>>] ボタンをクリックしたあと、SD メッセージ表示欄の登録した番号を指定することで、選択した音源ファイルを SD メッセージに登録できます。

メモ

- ライブラリー表示欄ではファイル名の文字色で音源ファイルの状態を表します。
 - 黒：本体および本ソフトウェアでサポートしている形式の音源ファイルで、SD メッセージに登録されていません。
 - 緑：本体および本ソフトウェアでサポートしている形式の音源ファイルで、SD メッセージに登録されています。
 - 赤：本体および本ソフトウェアでサポートしていない形式の音源ファイルです。なお、文字色の黒、緑については、SD メッセージ登録作業中のみ上記状態を示します。登録作業後にデータ保存し編集が確定後は音源ファイルの文字色は黒表示のみとなります。データ読み込み後も同様です。

◆ SD メッセージの設定

SD メッセージの名称、再生回数、再生間隔を設定します。

SD メッセージの設定を行うにはあらかじめメッセージの登録を行ってから設定してください。

1. 名称を入力

SD メッセージ表示欄で設定を行う SD メッセージの [名称] 欄をダブルクリックし、名称を入力します。



名称に入力できる文字一覧表

	入力可能文字種									
英大文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
	U	V	W	X	Y	Z	/	/	/	/
英小文字	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
	u	v	w	x	y	z	/	/	/	/
記号	!	"	#	\$	%	&	'	()	*
	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
	?	@	_	空白	/	/	/	/	/	/
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
カタカナ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	/	/	/	/
	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	空白
ー	。	、	/	/	/	/	/	/	/	

メモ

- メッセージ名称は 15 文字まで入力できます。入力可能な文字は、半角の英大文字、英小文字、数字、記号、カタカナです。
- 全角の英大文字、英小文字、数字、記号、カタカナを入力した場合は、自動的に半角に変換されます。
- 全角ひらがなを入力した場合は、自動的に半角カタカナに変換されます。
- メッセージ名称に使用できる文字以外の文字を入力した場合は、入力した文字は無視されます。

2. [再生回数] 欄をダブルクリックし、SD メッセージの再生回数を設定

再生回数 1~99、無限



3. [再生間隔] 欄をダブルクリックし、メッセージの再生間隔を設定 (再生回数を 2 回以上に設定したときのみ)

再生間隔 0~60 秒
(1 秒刻み)



音源データ設定

◆ SD メッセージのクリア

SD メッセージから音源ファイルの登録を解除し、設定をクリアします。

1. SD メッセージリストからクリアする SD メッセージを選択



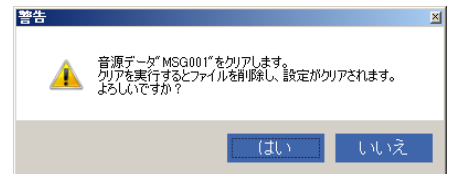
2. [クリア] ボタンをクリック

確認画面が表示されます。



3. [はい] ボタンをクリック

SD メッセージに登録されていた音源ファイルが削除され、設定がクリアされます。



メモ

- ライブラリー表示欄から音源ファイルを選択して登録したSDメッセージはクリアしてもライブラリーの音源ファイルは削除されません

◆ SD メッセージのエクスポート

SD メッセージに登録されている音源ファイルをライブラリーにコピーします。音源ファイルをライブラリーにコピーすることで、他の音源データ作成時にも音源ファイルを使い回すことができます。

1. SD メッセージリストでエクスポートするメッセージを選択



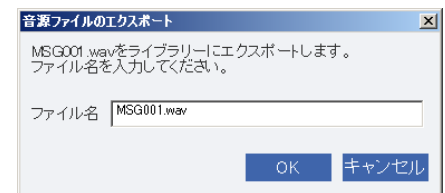
2. [エクスポート] ボタンをクリック

エクスポート画面が表示されます。



3. ファイル名を入力し、[エクスポート] ボタンをクリック

SD メッセージに登録されている音源ファイルが、ライブラリーにコピーされます。



メモ

- ライブラリー表示欄から音源ファイルを選択して登録したSDメッセージはエクスポートすることはできません。

音源データ設定

■ プレイリストについて

プレイリストとは複数のSDメッセージを組み合わせた音源データのことを指します。

あらかじめプレイリストを作成しておけば、定形メッセージのアナウンス放送や複数の音楽をBGM放送することができます。また、各SDメッセージの間に無音区間を設定できます。

用途および本体のディップスイッチ設定に応じてプレイリストを作成してください。

プレイリスト作成にあたり注意すること

外部制御入力による音源の再生モードは、本体のディップスイッチ（再生モード）の設定で決まります。

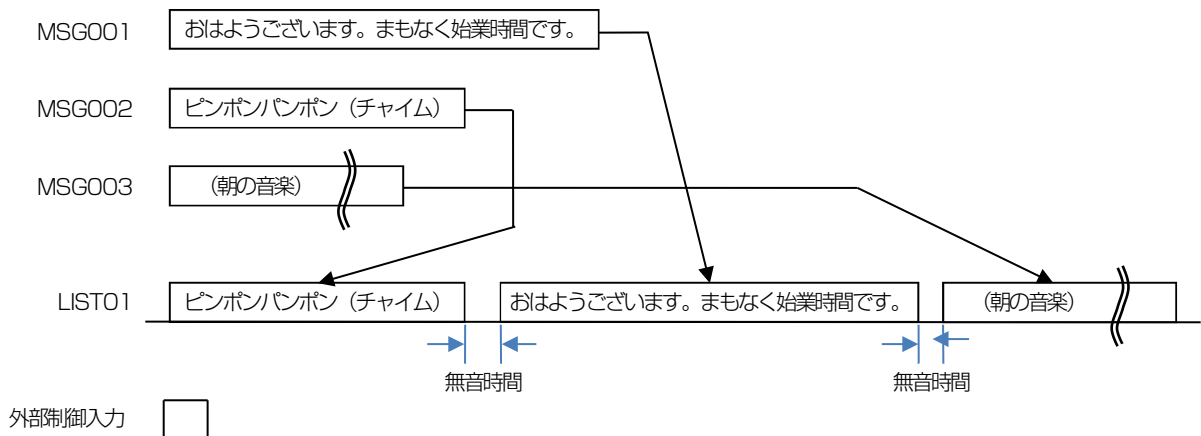
外部制御入力を使用するプレイリストは、本体の再生モードの動作と合わせた作成が必要になります。

以下にプレイリストと再生モードに関する説明します。

① アナウンスモードとして使用する場合

プレイリスト作成時に設定した順番通りにSDメッセージを再生します。定形のアナウンス放送用途に使用することができます。

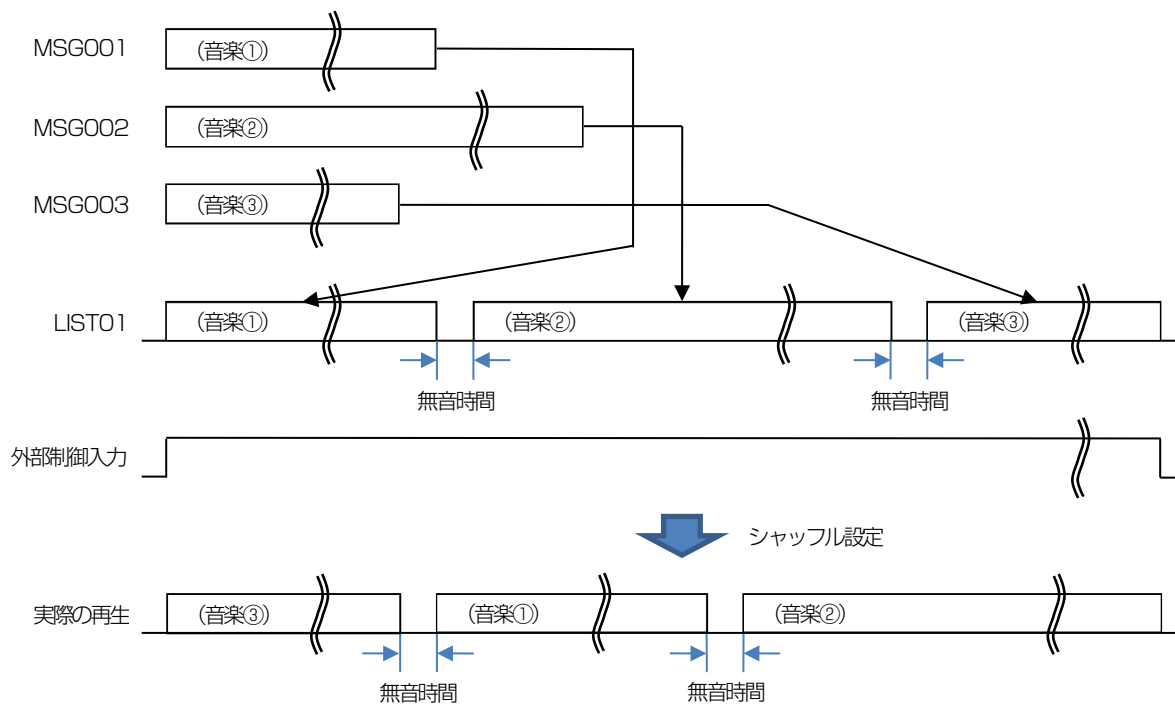
本体のディップスイッチ（再生モード）をアナウンスモードに設定すると、外部制御入力をパルス入力することでプレイリストを最後まで再生できます。



② BGM モードとして使用する場合

音楽の SD メッセージを複数組み合わせることで BGM 用途で使用することができます。シャッフル設定をすれば曲順をランダムにして再生することが可能です。

本体のディップスイッチ（再生モード）を BGM モードに設定すると、外部制御入力が ON（メイク）されている間プレイリストを繰り返し再生できます。



※シャッフル再生時の再生順番は再生起動を行うことにランダムな再生順番になります。

重要

- 外部制御入力で音源を再生する場合は目的に合わせて、必ず本体のディップスイッチの設定を行ってください。

音源データ設定

■ プレイリスト作成画面について

プレイリストの作成や設定を行います。

プレイリストの作成は音源データ設定画面の [プレイリスト作成] タブで行います。



番号	名称	説明
1	プレイリスト表示欄	プレイリストが一覧表示されます。 プレイリストの名称、再生回数、再生間隔、シャッフル設定を設定します。
2	再生	サウンドプレーヤーを起動し、プレイリスト表示欄で選択したプレイリストを再生します。
3	作成	プレイリストを作成します。
4	クリア	プレイリスト表示欄で選択したプレイリストを削除します。

◆ プレイリストの作成

プレイリストは最大50件まで作成することができます。

1. 作成するプレイリストの番号をクリック



2. 【作成】 ボタンをクリック

プレイリスト作成画面が表示されます。

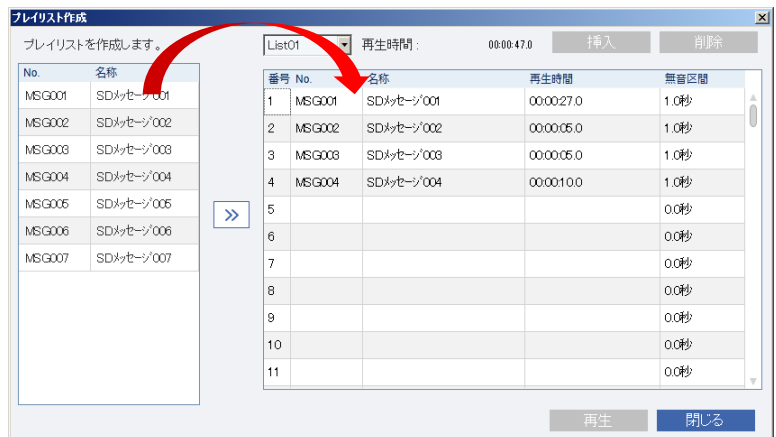


3. プレイリストに登録するSDメッセージを選択し、プレイリスト番号にドラッグ&ドロップ

選択したSDメッセージがプレイリストに登録されます。

メモ

- ドラッグ&ドロップの代わりに、SDメッセージを選択して [>>] ボタンをクリックしたあと、プレイリスト番号を指定することで、選択したSDメッセージをプレイリストに登録できます。



メモ

- プレイリストには最大127のSDメッセージを登録することができます。
- SDメッセージを登録すると自動的に無音区間が1.0秒に設定されます。
- Ctrl や Shift を押しながらSDメッセージを選択すると複数のSDメッセージを選択することができます。

4. 登録したプレイリスト番号の【無音区間】欄をダブルクリックし、無音区間を設定

設定できる無音区間は0.0秒～60.0秒(0.1秒刻み)です。

3～4の作業を繰り返してプレイリストを作成します。



音源データ設定

5. [閉じる] ボタンをクリック

プレイリスト作成画面が閉じます。



メモ

- プレイリスト作成画面で表示される各ボタンの動作は以下の通りです。
 - ・ [挿入] ボタンをクリックすると、選択した番号の前に SD メッセージを追加します。
 - ・ [削除] ボタンをクリックすると、選択した番号の SD メッセージを削除します。
 - ・ [再生] ボタンをクリックすると、サウンドプレーヤーを起動し選択した SD メッセージを再生します。

◆ プレイリストの設定

プレイリストの名称、再生回数、再生間隔、シャッフル設定を設定します。

1. 名称を入力

プレイリスト表示欄で設定を行うプレイリストの [名称] 欄をダブルクリックし、名称を入力します。



メモ

- メッセージ名称は 15 文字まで入力できます。入力可能な文字は、半角の英大文字、英小文字、数字、記号、カタカナです。
- 入力可能な文字の詳細は SD メッセージの名称に入力できる文字一覧 (35 ページ) を参照してください。

2. [再生回数] 欄をダブルクリックし、プレイリストの再生回数を設定

再生回数 1~99、無限



3. [再生間隔] 欄をダブルクリックし、メッセージの再生間隔を設定 (再生回数を 2 回以上に設定したときのみ)

再生間隔 0~60 秒
(1 秒刻み)



4. [シャッフル] 欄をダブルクリックし、シャッフル設定

ON プレイリスト再生時、再生順番をシャッフルして再生します。

OFF プレイリスト再生時、SD メッセージの登録順序にしたがって再生します。



音源データ設定

◆ プレイリストのクリア

プレイリストをクリアします。

1. プレイリスト表示欄でクリアするプレイリストを選択



2. [クリア] ボタンをクリック

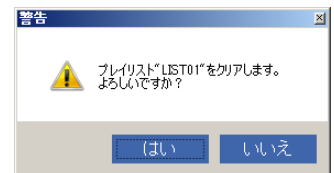
クリア確認画面が表示されます。



3. [はい] ボタンをクリック

選択したプレイリストがクリアされます。

クリアを中止するには [いいえ] ボタンをクリックします。



■ その他の機能

◆ 音源ファイルの削除

音源ファイルリストやライブラリー表示欄から音源ファイルを削除します。

1. 音源ファイルリストやライブラリー表示欄から削除する音源ファイルを選択



2. [削除] ボタンをクリック

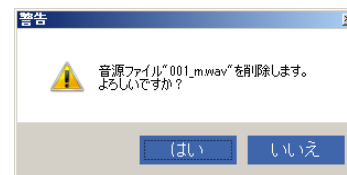
削除確認画面が表示されます。



3. [はい] ボタンをクリック

選択した音源ファイルが削除されます。

削除を中止したいときは [いいえ] ボタンをクリックします。



メモ

- ライブラリー表示欄からSDメッセージに登録している音源ファイル(緑文字表示)は削除できません。

音源データ設定

◆ 音源ファイル名の変更

音源ファイルリストやライブラリー表示欄にある音源ファイルのファイル名を変更します。
本機能はライブラリー登録画面やSDメッセージ登録画面で操作可能です。

1. 音源ファイルを選択

音源ファイルリストやライブラリー表示欄からファイル名を変更する音源ファイルを選択します。



2. [ファイル名変更] ボタンをクリック

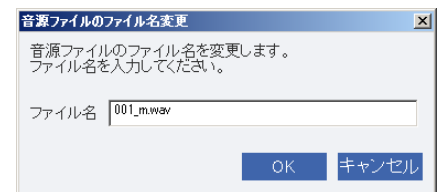
ファイル名変更画面が表示されます。



3. ファイル名を入力して、[OK] ボタンをクリック

選択した音源ファイルのファイル名が変更されます。

ファイル名の変更を中止したいときは [キャンセル] ボタンをクリックします。



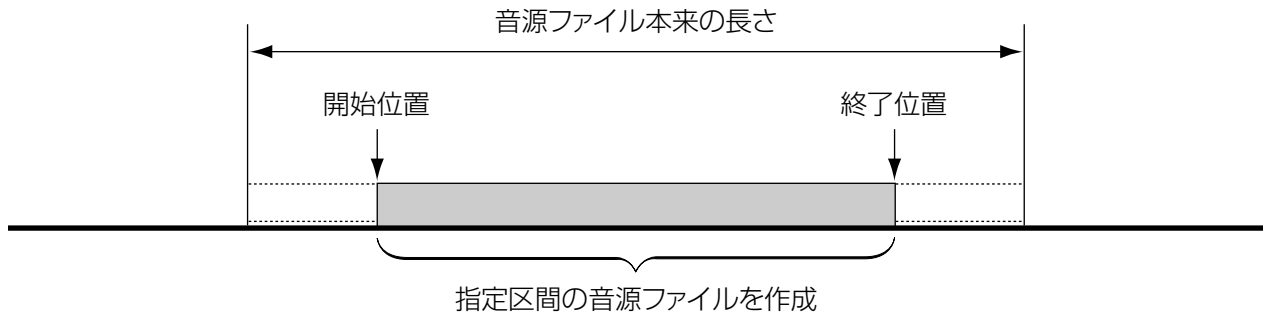
メモ

- ライブラリー表示欄からSDメッセージに登録している音源ファイル(緑文字表示)はファイル名変更できません。

◆ 音源ファイルのトリミング

本体で録音した音源ファイルの開始位置と終了位置を指定し、指定した区間の音声を抜き出して新たに音源ファイルを作成できます。

本機能はライブラリー登録画面やSDメッセージ登録画面で操作可能です。



重要

- トリミングの開始位置、終了位置は必ず、無音箇所を指定してください。音声がある箇所からトリミングすると、作成した音源ファイルにノイズが残ることがあります。

1. 音源ファイルリストやライブラリー表示欄で音源ファイルを選択



2. 【トリミング】 ボタンをクリック

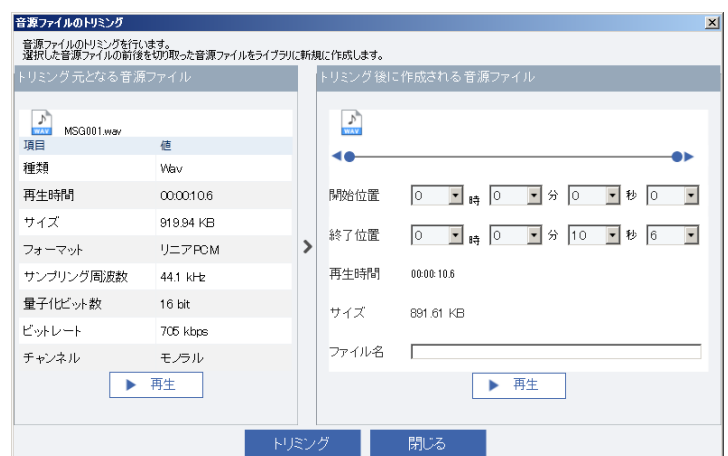
トリミング画面が表示されます。



3. トリミングの開始位置と終了位置を設定

開始位置と終了位置は時、分、秒、0.1 秒を設定できます。

トリミング後の音声を確認する場合は、[再生] ボタンをクリックします。



4. ファイル名を入力し、【トリミング】 ボタンをクリック

指定した区間の音源ファイルが作成され、ライブラリーに保存されます。

トリミングを実行せずに終了したい場合は [閉じる] ボタンをクリックします。

音源データ設定

◆ 音源ファイルのプロパティ表示

音源ファイルのプロパティを表示します。

本機能はライブラリー登録画面やSDメッセージ登録画面で操作可能です。

1. 音源ファイルリストやライブラリー表示欄で音源ファイルを選択



2. 【プロパティ】 ボタンをクリックする

プロパティ画面が表示されます。



◆ 音源データの試聴

サウンドプレーヤーを起動し、音源ファイルやSDメッセージ、プレイリストを試聴できます。
ここではSDメッセージ登録画面で音源ファイルを試聴する場合を例に説明します。

1. SDメッセージ登録画面で試聴する音源ファイルを選択する



2. [再生] ボタンをクリックする

サウンドプレーヤーが起動され、選択した音源ファイルが再生されます。



メモ

- サウンドプレーヤーで表示される再生時間は、本体で表示される再生時間と異なることがあります。

音源データ設定

◆ 遠隔設定

本体とネットワーク接続を行い、本体の音源データを編集、音源ファイルのアップロード/ダウンロードを行うことができます。

[遠隔設定] ボタンを押して本体に接続すると以下のことを行うことができます。

機能	説明
接続	本体に接続し、本体のSDカード内のSDメッセージやプレイリストの設定を表示します。また、本体SDカード内の音源ファイルをダウンロードしたり、本体のSDカードへ音源ファイルをアップロードしたりできます。
切断	本体との接続を切断します。
設定反映	変更したSDメッセージやプレイリストの設定を本体のSDカードに反映します。

重要

- 本体にSDカードが挿入されていないと遠隔設定で接続することはできません。
- サイズが大きいファイルのアップロード・ダウンロードには時間がかかります。サイズの大きいファイルの登録、取得はSDカードを経由して実施してください。
目安 1MB ファイル アップロード : 15 秒
ダウンロード : 2 秒
上記はあくまでも目安です。ご使用の環境によっては上記以上に時間がかかる場合があります。
- 本体で音源再生中に音源ファイルのアップロード・ダウンロードを行うことはできません。

音源データの遠隔設定を行うには以下の手順で本体と接続します。

◇ 本体との接続・切断

1. [遠隔設定] ボタンをクリック

[遠隔設定] ボタンの下にサブメニューが表示されます。



2. サブメニューの[接続]をクリック

本体と接続されます。

切断する場合はサブメニューの [切断] あるいは [メニュー] ボタンをクリックします。

メモ

- 本ソフトウェアを起動してから初めて本体にアクセスするとユーザー認証画面が表示されます。本体へのアクセスを続けるにはユーザー認証画面でユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本体に接続するとタイトルバーに [リモート中] と表示されます。また、SDメッセージ表示欄とプレイリスト表示欄は本体の状態を表示します。



◇ 設定更新

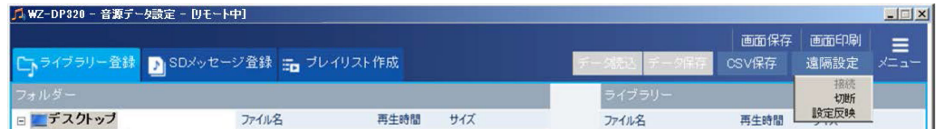
SD メッセージやプレイリストの設定を変更し、本体に反映します。

1. 本体に接続後、各種設定を変更

「SD メッセージ登録画面」(33 ページ)、「プレイリスト作成画面」(40 ページ) を参考に設定を変更します。

2. [遠隔設定] ボタンをクリック

[遠隔設定] ボタンの下にサブメニューが表示されます。



3. サブメニューの[設定反映]をクリック

本体に編集した設定を反映します。

メモ

- 遠隔設定中は音源の再生やエクスポート、トリミングなど各種操作を行うことはできません。

音源データ設定

◇ 音源ファイルのアップロード

ライブラリーにある音源ファイルを本体のSDメッセージに登録します。
本操作を行うには [SDメッセージ登録] タブを選択してください。

1. ライブラリー表示欄の音源ファイルを選択



2. SDメッセージ表示欄の登録したい番号にドラッグ&ドロップ

ドロップした番号のSDメッセージに音源ファイルが登録され、音源ファイルの情報が表示されます。



3. SDメッセージ表示欄のスクロールバーを右に移動

[アップロード] ボタンが表示されます。



4. SDメッセージ表示欄でアップロードするSDメッセージの [アップロード] ボタンをクリック

音源ファイルのアップロードが実行されます。



メモ

- すでに音源ファイルが登録されているSDメッセージにアップロードすると音源ファイルは上書きされます。

◇ 音源ファイルのダウンロード

本体のSDメッセージに登録されている音源ファイルをダウンロードし、ライブラリーに保存します。
本操作を行うには [SDメッセージ登録] タブを選択してください。

1. SDメッセージ表示欄のスクロールバーを右に移動

[ダウンロード] ボタンが表示されます。



2. SDメッセージ表示欄でダウンロードするSDメッセージの [ダウンロード] ボタンをクリック

ダウンロード 音源ファイル保存
画面が表示されます。



3. ファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリック

ライブラリーにダウンロードした音源ファイルが保存されます。

ネットワーク接続

ネットワーク接続について

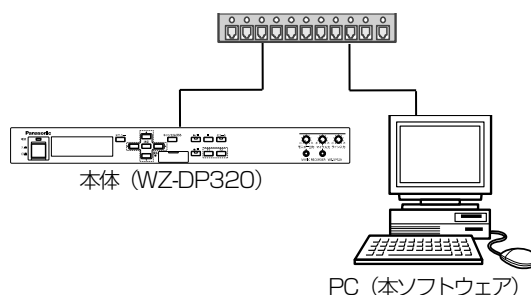
本ソフトウェアを本体とネットワーク接続することで設定データのアップロード、ダウンロードなどを行うことができます。

■ ネットワーク接続でできること

本ソフトウェアをネットワークに接続することで以下のことを行うことができます。

内容	説明	参照ページ
ネットワーク設定	本体の IP アドレス設定、TCP/IP 設定、ユーザー認証等のネットワークに関する設定を行います。	56
リモート制御	本ソフトウェアから音源データの再生制御を行うことができます。	50、62
状態確認	本ソフトウェアから音源データの再生状態を確認することができます。	62
設定データのアップロード/ダウンロード	本ソフトウェアからシステム設定データをアップロード/ダウンロードすることができます。	19
音源ファイルのアップロード/ダウンロード	本ソフトウェアから本体の SD カードに保存されている音源ファイルをアップロード/ダウンロードすることができます。	52

接続例



メモ

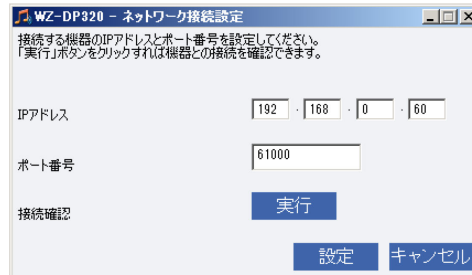
- ネットワーク設定を変更したら、必ず接続先 IP アドレスおよびポート番号の設定を変更してください。

ネットワーク接続先を設定する

■ ネットワーク接続先の設定

本ソフトウェアがネットワークで接続する本体の情報を設定します。

設定を行うにはメニュー画面で「ネットワーク接続設定」ボタンをクリックします。



◆ 接続先 | IPアドレスとポート番号の設定

1. 接続する本体のIPアドレスを設定

初期値 192.168.0.60

2. 接続する本体のポート番号を設定

初期値 61000

3. **【実行】** ボタンをクリックし、本体との**接続確認**

接続確認が成功すると完了ダイアログが表示されます。

タイムアウトが発生した場合は本体との接続やIPアドレス、ポート番号を確認してください。

4. **【設定】** ボタンをクリック

接続先情報が保存されます。

以降、本体にネットワークアクセスする場合は、本画面で設定したIPアドレス、ポート番号の本体に接続します。

メモ

- 本体のIPアドレス、ポート番号は「機器ネットワーク設定」画面から行うことができます。(56 ページ)
ネットワーク設定を変更したら、必ず本画面で接続先IPアドレスおよびポート番号の設定を変更してください。

機器ネットワーク設定を行う

ネットワークを介して本体のネットワーク設定を行います。

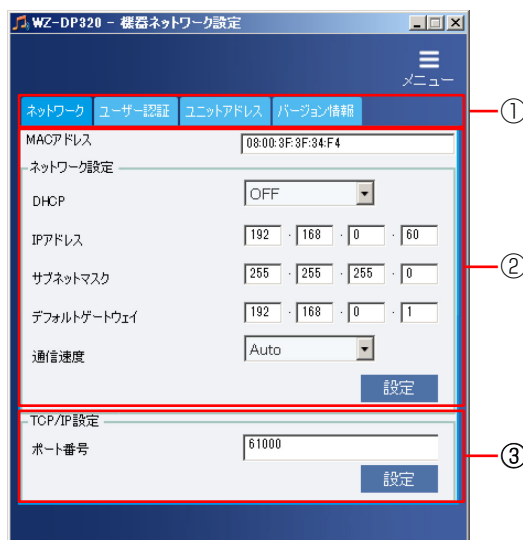
設定を行うにはメニュー画面で「機器ネットワーク設定」ボタンをクリックします。

タブで設定する項目を切り換えます。

タブ	内容	参照ページ
ネットワーク	本体のネットワーク設定、TCP/IP 設定を行います。	56
ユーザー認証	本体にアクセスする際のユーザー名とパスワードの設定を行います。	59
ユニットアドレス	本体のユニットアドレス設定を行います。	60
バージョン情報	本体のソフトウェアバージョンを確認します。	61

■ 機器ネットワークの設定

本体のネットワーク設定を行うには [ネットワーク] タブを選択します。



番号	内容	説明
1	MAC アドレス	本体のMAC アドレスを表示します。
2	ネットワーク設定	本体のネットワーク設定を行います。
3	TCP/IP 設定	本ソフトウェアと通信するときの本体側ポート番号の設定を行います。

◆ ネットワーク設定

1. DHCP の設定

DHCP 機能を使用する、しないを設定します。

ON DHCP を使用します。

DHCP 機能を使用して IP アドレスを設定します。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは入力不要です。

OFF IP アドレスを手動で設定します。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

初期設定 OFF

2. IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力

初期設定 IP アドレス : 192.168.0.60

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 192.168.0.1

3. 通信速度を設定

ネットワークの通信速度を指定します。通信速度は以下から選択します。

Auto 通信速度が自動設定されます

100M-Full 100Mbps 全二重

100M-Half 100Mbps 半二重

10M-Full 10Mbps 全二重

10M-Half 10Mbps 半二重

初期設定 Auto

4. [設定] ボタンをクリック

ネットワークの設定を本体に反映します。

重要

- ネットワーク設定を変更すると本体は自動的に再起動します。本体に接続する場合は 1 分以上時間を取ってから実行してください。

ネットワーク接続

◆ TCP/IP 設定

本体とのネットワーク通信を行うためのポート番号を設定します。

1. ポート番号を設定

初期設定 61000

重要

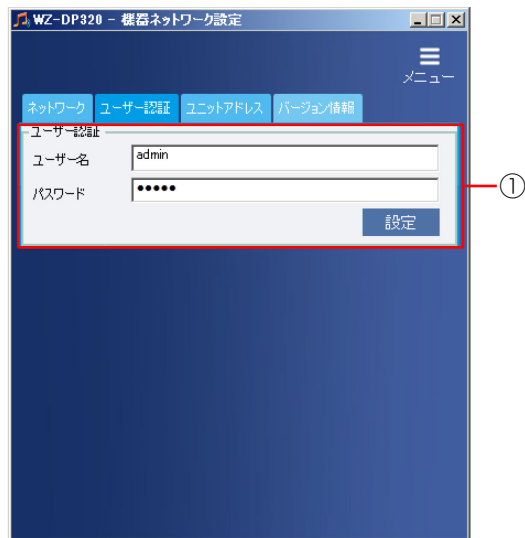
- 以下のポート番号は、設定できません。(ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く)
20,21,23, 25,42,53, 67,68,69, 80, 110,123, 161,162 ,443,995
- TCP/IP 設定を変更するとしばらく本体には接続できません。本体に接続する場合は 1 分以上時間を取ってから実行してください。

2. [設定] ボタンをクリック

ポート番号の設定を本体に反映します。

■ ユーザー認証の設定

ユーザー認証の設定を行うには [ユーザー認証] タブを選択します。



番号	内容	説明
1	ユーザー認証	ユーザー認証の設定を行います。

◆ ユーザー認証設定

本ソフトウェアが本体に接続する際に使用するユーザー名とパスワードの設定を行います。

1. ユーザー名を設定

現在のユーザー ID が表示されます。ユーザー ID を変更する場合は新しいユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 4 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英数字、右記の半角記号 !#\$%&'()*=+,-./:;<>?_`^[]/@*.,+¥

初期設定 admin

2. パスワードを設定します。

新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 0 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英数字、右記の半角記号 !#\$%&'()*=+,-./:;<>?_`^[]/@*.,+¥

初期設定 12345

重要

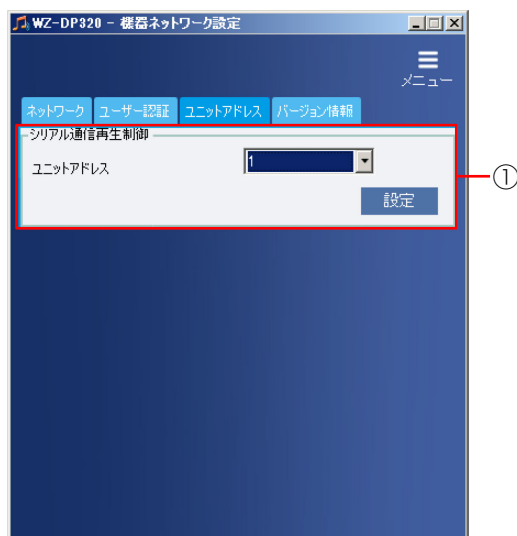
- セキュリティを確保するため、ユーザー名やパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- ユーザー名やパスワードが第三者に漏洩した場合、不正にアクセスされる場合があります。ユーザー名やパスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。
- 数字、記号、大文字、小文字を組み合わせると第三者に推測されにくくなります。
- ユーザー認証の設定を変更するとしばらく本体には接続できません。本体に接続する場合は 1 分以上時間を取ってから実行してください。

3. [設定] ボタンをクリックします。

ユーザー認証の設定を本体に反映します。

ネットワーク接続

■ ユニットアドレスの設定



番号	内容	説明
1	ユニットアドレス	ユニットアドレスの設定を行います。

本体のユニットアドレス設定を行うには [ユニットアドレス] タブを選択します。

1. ユニットアドレスを設定

プログラムチャイム (WZ-PT330)、プログラム IC レコーダー (WZ-PT340) からシリアル通信再生制御をする場合の本体のユニットアドレスを設定します。

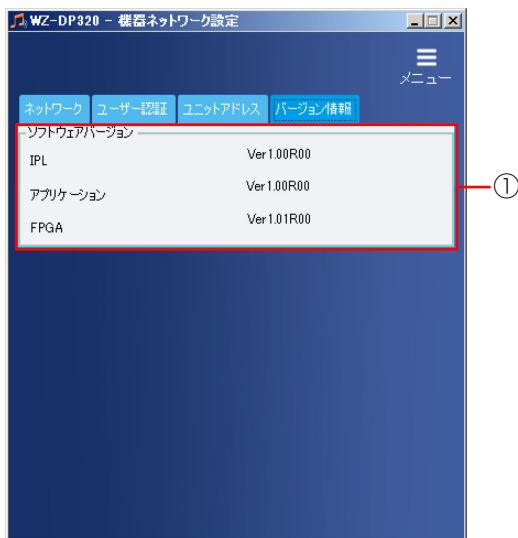
設定範囲 1～9

2. [設定] ボタンをクリックします。

ユニットアドレスの設定を本体に反映します。

■ バージョン情報の確認

本体から取得したバージョン情報を表示します。



番号	内容	説明
1	ソフトウェアバージョン	本体の各ソフトウェアのバージョンを表示します。

リモート制御

ネットワーク接続された本体の状態確認や制御を行うことができます。
制御を行うにはメニュー画面で「リモート制御」ボタンをクリックします。



番号	名称	説明
1	更新	本体から状態を取得し、画面に反映します。
2	音源データ・状態	本体の音源再生状態を表示します。表示される状態は以下の通りです。 再生中：本体で音源を再生している状態を表し、再生中の音源を表示します。 停止中：本体で音源を再生していない状態を表します。
3	音源データ・停止	再生中の音源を停止します。
4	音源データ・再生制御	再生制御を行う音源を選択します。
5	音源データ・再生	音源選択コンボボックスで選択した音源を再生します。
6	出力音量・現在の音量値	本体の音声出力の音量値を表示します。
7	出力音量・出力音量制御	出力音量を選択します。
8	出力音量・設定	出力音量コンボボックスで選択した音量を本体に設定します。

■ リモート制御でできること

リモート制御では以下のことを行うことができます。

音源データ	
再生状態確認	本体の再生状態を確認できます。最新の状態を表示するには [更新] ボタンをクリックします。
再生・停止制御	音源を指定して [再生] ボタンをクリックすれば本体で再生することができます。また、再生中の音源を停止することができます。
出力音量	
出力音量確認	本体の音量設定を確認できます。最新の状態を表示するには [更新] ボタンをクリックします。
出力音量制御	音量値を選択して [設定] ボタンをクリックすれば、本体の音量設定を変更することができます。

重要

- リモート制御中は状態表示の不一致が発生する可能性があるため、本体の前面パネルを操作しないでください。
- 本体で再生中にリモート制御画面に遷移すると音途切れが発生することがありますので、ご注意ください。

◆ 音源の再生・停止制御

本体の音源を再生/停止します。

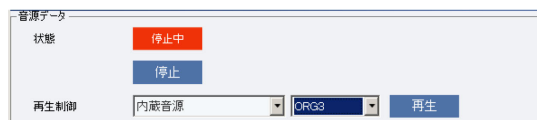
本ソフトウェアから再生制御を行ったときは 1 回のみ音源を再生します。

1. 音源選択コンボボックスで再生する音源を選択



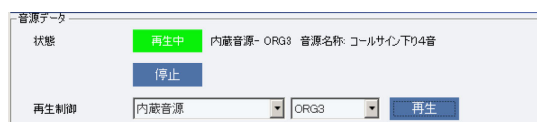
2. [再生] ボタンをクリック

音源データ状態表示が更新され、本体で選択した音源を再生します。



3. 音源再生を停止する場合は [停止] ボタンをクリック

音源データ状態表示が更新され、本体で音源の再生が停止します。



ネットワーク接続

◆ 出力音量制御

本体の音声出力の音量を調整します。

1. 出力音量制御コンボボックスで音量値を選択

設定範囲 0～50



2. [設定] ボタンをクリック

出力音量表示が更新され、本体の出力音量が変更されます。



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。


これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因・対策	参照ページ
各種データを保存できない	<ul style="list-style-type: none"> ● データフォルダーやSDカードの設定を行っていますか？ →環境設定画面で設定を確認してください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> ● 保存先ドライブやフォルダーが書き込み保護設定になっていませんか？ →保存先ドライブの空き容量が十分であるか確認してください。 	—
ネットワーク経由で本体と接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のLANコネクタ [10/100BASE-T] にケーブルが接続されていますか？ →本体との接続を確認してください。 	本体取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● リンクランプは点灯していますか？ランプは点灯していますか？ →点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 	本体取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の電源は入っていますか？ →本体の電源が入っているかを確認してください。 	本体取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● 間違ったIPアドレスおよびポート番号にアクセスしていませんか？ →正しいIPアドレスとポート番号でアクセスしてください。「ネットワーク接続設定」で本体との接続確認を行うことができます。 	55
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のIPアドレスが他機と重複していませんか？ →本体のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを確認してください。 	本体取扱説明書
SDメッセージに音源ファイルを登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音源ファイル形式が違いますか？ →音源ファイルがメッセージに登録可能な形式であることを確認してください。 	32
再生している音源が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカー接続されていますか？ →スピーカー接続されていることを確認してください。 ● PCのボリューム設定が適切ですか？ →PCのボリューム設定が適切か確認してください。 	—
データを保存できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 保存先の空き容量は十分ですか？ →保存先の空き容量を十分確保してください。 ● 保存先がライトプロテクトされていませんか？ →SDカードに保存する場合、ロックスイッチがOFFになっていることを確認してください。 	—

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）
※携帯電話からのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号